

合併して市には、子育て支援課ができましたが、合併以前は各地に子育て相談の専門部署もなく、結婚して天草へ来た女性が育児相談をはじめ、つながりを持つうと思っても、どこに相談に行けばいいのかわからずに、児童館などを頼っていたという話も聞きました。

今感じているのは、女性が抱えている悩みを相談できる場所とか、女性だけの運動施設というのがありませんので、女性が気軽に訪れることができる施設や女性を支援する拠点が必要だと思います。磨田 確かに、女性だけが利用できる施設はないですね。家庭や職場、さまざまな組織においても、社会はまだ男性が中心であることは否めません。これから男女がともに能力を発揮していくためには、女性が乗り越えなければならぬ壁はたくさんあります。こうしたときに、女性が気軽に集まって話す場所があれば

本音の話もできません。顔を見ながら人がコミュニケーションをとってつながり合うためにも、拠点となる場所は絶対に必要だと思います。

石井 地域リーダー研修で東京に行ったとき「女性と仕事の未来館」という施設を見学させていただきました。保育士や弁護士などスタッフも充実していて、気軽に無料で女性が相談できる場所でしたので、魅力的だなと感じたことを覚えています。

（社）天草宝島観光協会のスタッフとして、天草宝島国際交流会館ポルト内にいますが、例えば男女共同参画室で行われているNPOセミナーについても、興味があるという女性もたくさんいます。

集まった人たちがネットワークを作ることでもできますし、話をする事で自分が知らなかったことを知ることができ、学びにもなり、次のステップにつながると思います。



磨田 泰子さん  
(本町本)

男女共同参画推進ネットワーク・つのでネット～風～会長。平成5年度に男女共同参画地域リーダー研修に参加。元天草市男女共同参画室長。

### 育児・家事への男性の積極的な参加を

磨田 消費生活相談は商工観光課、女性相談は子育て支援課というように、相談事業が分かれていますよね。こうした相談事業を一つのところにまとめて、総合相談事業といったものができるといいなと思います。

それから、例えば男女共同参画社会づくりにについても同じ意識、志を持った人たちが集えば仲間づくりやネットワークもできますし、いろいろな道が開けてくると思います。



池田 和浩さん (天草町大江)

特別養護老人ホーム春光苑勤務。妻の入院をきっかけに男性の育児、家事への参加の大切さを実感。男女共同参画推進ネットワーク・つのでネット～風～会員として昨年入会。



石井 麻耶子さん (下浦町)

昨年11月に行われた内閣府男女共同参画局主催の全国ヤングリーダー研修に熊本県内を代表して参加。With Amakusaの会員としても積極的に男女共同参画に活動中。（社）天草宝島観光協会勤務。

高齢者介護と育児は相通じるものがある」と話しました。高齢者介護には介護する人をケアするショートステイなどといった事業がありますが、育児に関してのショートステイというのはないですよ。保育所の一時保育、休日保育、放課後児童クラブといったことは市にもあると思いますが、保護者が病気のときや育児に疲れたとき、子どもを1泊2日、2泊3日などで預かれるところはありませんよね。そういう事業や施設が市にもできればと思います。

それから、妻の入院中にやっぱり一番苦労したのは夕食づくりですね。3人の子どもを保育所や小学校へ迎えに行つて、帰つて「さあ何を作ろう」と思うと、これまで妻に任せてきた家事のたいへんさを実感しました。たいへんなあまり、つい子どもにも強い口調で怒鳴ったりすることもありました。一番上の子ども

が、「お父さんもたいへんだけん言うこときかんば」と弟や妹を諭してくれたときは、本当に涙が出るくらいうれしかったですし、近所にいる姉や義母の協力で、食卓に一品でも、二品でも並んでいたときのありがたさ。これには本当に感謝しましたね。

料理は好きですが、やはりこれが毎日というのは本当にたいへんです。育児や家事についても、やはり男性の協力というのは必要ではなく、必然だと思っています。

磨田 ふだんの生活の中でも、男女共同参画の視点で見えてしまうことも多くあります。以前は、男性が一人で買い物や掃除など、恥ずかしそうに店内を歩かれています。最近では年代にかかわらず一人で来て、欲しい品物を手ざわよく買い求めて行かれる姿を見ると、男女共同参画も少しずつ進展しているのかなと感じています。ほかにも、幼稚園で月に1回、未就園児親子といっしょにふれあう子育て支援事



丸田 光二さん  
(本渡町本戸馬場)

男女共同参画審議会会長。天草広域連合中央消防署・御所浦分署長。平成16年度に男女共同参画社会づくり地域リーダー研修に参加。男女共同参画を推進する団体・ジョイナスあまくさ代表。

池田 男性の料理教室なども行われていますが、育児に関して例え「お父さんの育児の日」などを決めてイベントを開催して、もっと男性の育児参加を促すようにするとおもしろいかも知れませんね。

あと、一時保育事業は、保育所の開園時間の利用しかできません。社会福祉協議会で行われている、「ファミリーサポートセンター事業」というのも聞いたことがあります。